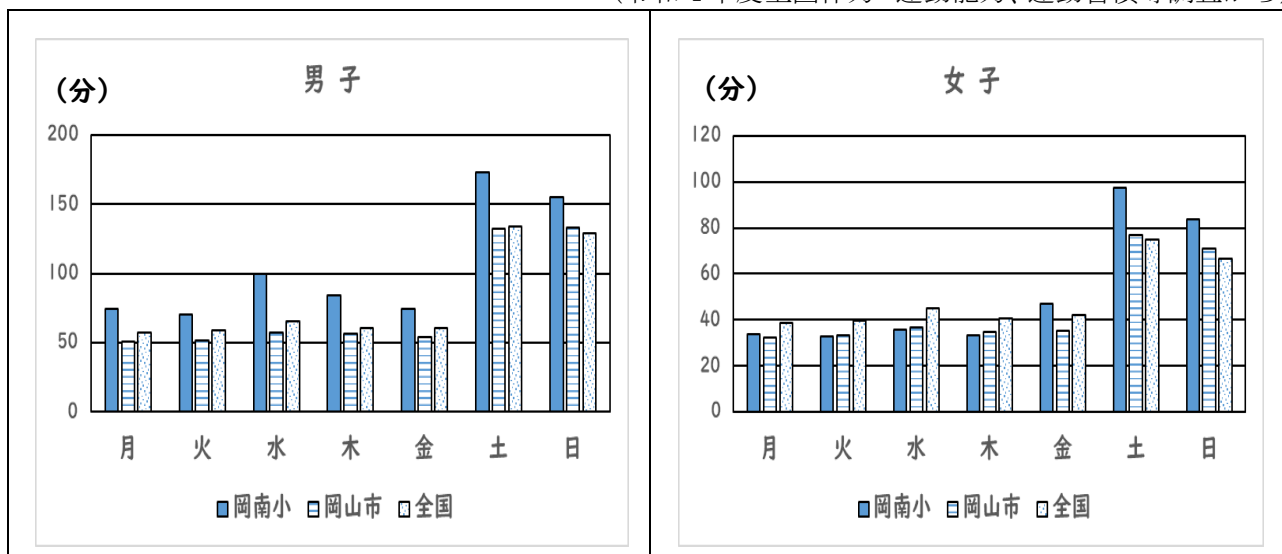


健康戦隊ウンドウジャーといっしょにワクワク運動習慣づくり

学校名	岡山市立岡南小学校		校長名	森 淳	
児童生徒数	432人	学級数	19	教職員数	49人

< 体育の授業以外の運動やスポーツの時間（曜日別） >

（令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査から）



1 児童生徒の実態

令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果から、本校における体育の授業以外の運動やスポーツの時間は岡山市や全国と比べても土日を中心として低くはない。だが、休み時間の様子を見てみると、外遊びをする子とそうでない子に分かれている傾向がある。体育の学習においても苦手意識が先行し、運動に前向きでない児童はどのクラスにも存在する。運動を身近に感じられる取り組みが必要だと感じる。

2 取組の概要

子どもたちが、よりよい運動習慣を身につけるためには、「運動することの楽しさ」を経験することが重要であると考えます。メディアに囲まれた生活を日常としている子どもの中に、「体をつかった遊び」を少しでも多く取り入れ、体を動かすことの喜びや遊びをつくり出すことのおもしろさを味わわせたいと考えます。また、よりよい運動習慣を身に着けるためには、家庭への啓発も不可欠だと考え、以下の取り組みを行った。

①「運動だんご」の活用

岡山市小学校体育連盟研修部が作成した「運動だんご」を活用する。月～金曜日まで多様な運動遊びを行い印をつけていくカードだ。2学期と3学期に3週間、冬休みに2週間行うようにする。その中には自分で運動遊びを考える「だんご」も設定し、運動に親しむ機会としていきたい。

②「健康戦隊ウンドウジャー」の登場

子どもたちが運動を身近に感じられるように、教師からの促しではなく、健康戦隊ウンドウジャーが子どもたちに「健康の大切さ」や「運動の楽しさや重要性」を呼びかけていく。健康を阻害しようとする不健康結社とのやりとりの中で、ウンドウジャーの言動に同調し、「自分もやってみたい」という意欲を高めるのではないかと考えた。



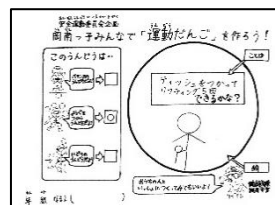
↓運動だんごの動画紹介↑



③運動委員会および1年&6年交流の取り組み

運動委員会が「運動だんごポスト」を作成し、運動遊びをつくることを呼びかけた。また、募集された中からいくつかを選び、運動だんごカードを作成したり、テレビ放送で紹介したりした。

また、6年生が1年生といっしょに運動づくりを行う機会を設けることで、つくり出すことの意欲を促した。



↑運動だんご作成カード

↓1年&6年交流

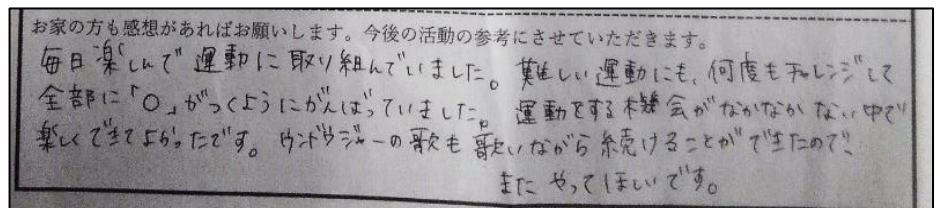
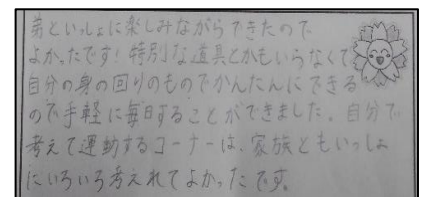


④クロムブックでの配信

冬休みには、クロムブックを持ち帰ったため、2回に分けて運動の動画を配信した。また、「運動習慣要性」についても配信し、「運動だんごの取り組み」を親子でも行えるように促した。

3 成果

多くの子どもたちが運動だんごを行い、児童や保護者の感想からも、楽しみながら家庭で運動を行った様子が伺えた。教育課程のアンケートの中にも、肯定的な意見があり継続して取り組みを行っている成果だと感じる。また、運動を勧める「ウンドウジャー」や生活習慣を促す「ヘルシーイエロー」は日常の場面に数多く登場してきており、児童にとって身近な存在となっていることを実感している。



4 課題・今後の取組に向けて

運動だんごカードや動画の作成には、やはり時間がかかる。持続させていくためには、作成したものを上手く再利用したり、他校と情報を共有したりするなどの工夫が必要だと感じる。持続可能な取り組みを検証していきたい。また、家庭への協力の様々な方法も模索していきたい。